

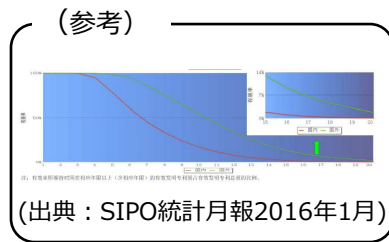
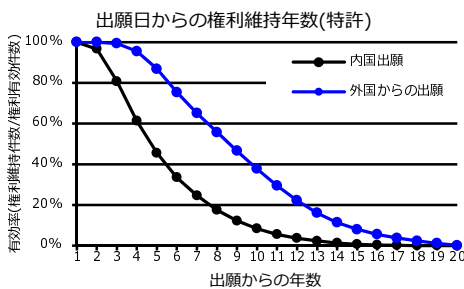
中国への特許出願件数はとても多いため、全件の技術内容を読み込むのは困難であり、全体の出願動向を知るのには非常に難しい。一方、いわゆる重要特許の権利は、長い期間に亘って維持される傾向があると云われている。そこで、本研究では、権利の維持期間を解析し、技術分野別に傾向を調査した。

# 中国特許の技術分野別の権利維持期間に関する研究

渋谷 亮介 (株式会社三菱化学テクノロジー)

## SIPO(中国国家知識産権局)統計との比較

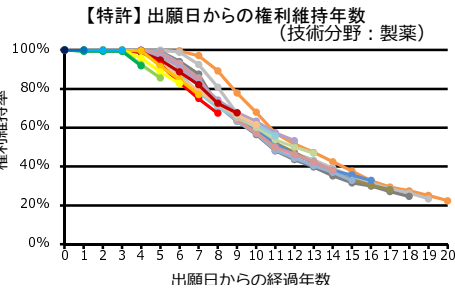
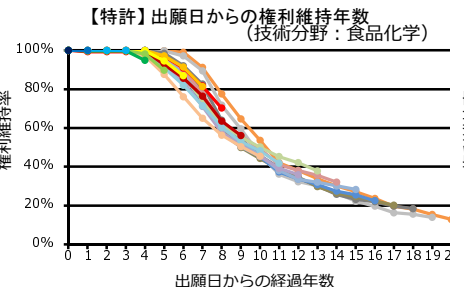
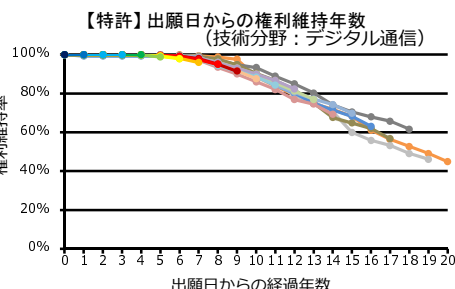
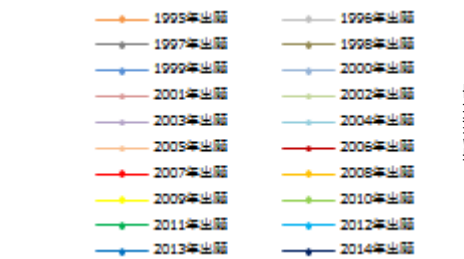
中国特許の現地DBであるCNIPRから法律状態情報を取得し、権利の維持期間を算出した。算出した権利期間を基に、SIPOが発表している統計と同一の基準でグラフを作成して比較したところ、SIPO統計よりも権利期間がやや短く算出されたことが分かった。



## 技術分野別の権利維持期間の傾向

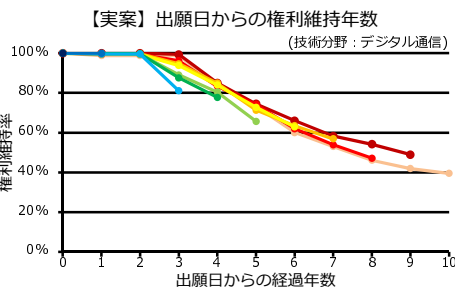
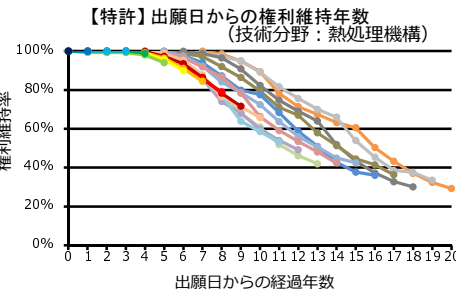
WIPOのIPC concordance tableを基に、メインIPCで35の技術分野に分け、技術分野ごとに権利維持期間の傾向を調べた。右に結果の一部を示す。

特許で権利の維持率が高い技術分野は「デジタル通信」、低い技術分野は「食品化学」であった。「製薬」の維持率は、特に高い傾向は見られなかった。出願年による維持率の差が大きかったのは「熱処理機構」であった。次に、実用新案で権利の維持率が高い技術分野は「デジタル通信」、低い技術分野は「家具、ゲーム」であった。



## 維持期間が長い権利の技術分野

いわゆる重要特許の権利の動向を見るために、権利期間が長い特許及び実用新案権を抽出し、メインIPCのサブクラスレベルで技術分野を調査した。



その結果、特許では、医薬、通信、電気、化学分野が多く、実用新案は、導電接続、容器、削孔、分離、分析分野などが多かった。権利者の国籍にも特徴があり、特許権者の9割は中国以外の国籍であった。これらの技術分野の中で、特に通信分野や電気分野は、出願数が増えているにもかかわらず権利の消滅が比較的に少ないことから、今後の動向を注視した方がよいと思われる。

2016年10月末時点で有効な権利の技術分野

特許 (権利維持期間が18年以上)		実用新案 (権利維持期間が8年以上)	
IPC	件数	IPC	件数
A61K	721	H01R	2,269
H04N	689	B65D	1,465
H01L	593	E21B	1,453
H04Q	545	G01N	1,379
G06F	507	B01D	1,337
G11B	467	H01H	1,308
C07C	462	F16K	1,212
H04L	368	H05K	1,047
C07D	351	A47J	935
H04B	327	G01R	928

(出願人国籍)中国: 中国以外 = 1 : 9 (出願人国籍)中国: 中国以外 = 4 : 8

2013年~2015年に消滅した権利の技術分野

特許 (権利維持期間15年以上20年未満)		実用新案 (権利維持期間8年以上10年未満)	
IPC	件数	IPC	件数
H01L	633	H01R	1,012
H04N	480	B65D	611
A61K	478	G01N	491
G06F	441	H01H	490
G11B	430	G06F	478
H04Q	309	F16K	470
C07D	303	A47J	461
H04L	262	B01D	446
C07C	261	E21B	433
H04B	226	H05K	390

(出願人国籍)中国: 中国以外 = 1 : 8 (出願人国籍)中国: 中国以外 = 7 : 1

### 参考文献等

- (1) 特許庁「特許出願動向調査—マクロ調査—」(平成27年度版)
- (2) 中国知識産権局「国家知识产权局专利业务工作及综合管理统计月报」(2016年各月版)
- (3) WIPO IPC concordance table

URL : [http://www.wipo.int/export/sites/www/ipstats/en/statistics/patents/xls/ipc\\_technology.xls](http://www.wipo.int/export/sites/www/ipstats/en/statistics/patents/xls/ipc_technology.xls) (Feb. 2016)